

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預金、貯金、未収入金、前払費用、仮払金、貯蔵品、立替金、預け金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	1,372,455,314	1,352,758,480
未収入金	155,710,727	156,417,898
前払費用	162,350	1,989,738
仮払金	16,500	0
貯蔵品	2,760,000	2,760,000
立替金	4,383,982	4,113,594
預け金	20,000	20,000
合 計	1,535,508,873	1,518,059,710
未払金	112,466,033	184,533,089
前受金	7,379,262	7,514,958
預り金	133,141,693	7,435,093
合 計	252,986,988	199,483,140
次期繰越収支差額	1,282,521,885	1,318,576,570

3. 予備費の使用及び予算の流用

(1) 予備費の使用はない。

(2) 予算の小科目間流用

【一般会計】

① 「調査研究部費支出」774,348円の予算不足額を「制度部費支出」から流用した。

② 「全国事務局連絡会議費支出」130,872円の予算不足額を「対外機関連絡費支出」から流用した。

【電子証明事務特別会計】

③ 「雑支出」8,333円の予算不足額を「維持管理費支出」から流用した。